

授業概要

本講義では、教育相談の基礎理論と技法の理解を目指す。基礎的なカウンセリングの理論及び技法、乳幼児期・児童期・思春期に生じうる問題と対応方法、多職種との連携について講義する。また、アクティブ・ラーニングとして、グループ・ワークを用い、体験を通じた事例理解を目指す。

授業計画

第 1 回	ガイダンス、教育相談とは何か
第 2 回	教育相談における連携と協働①：チーム学校（園）の基礎、専門職の役割
第 3 回	教育相談の基礎知識①：カウンセリングの代表理論と基礎技法
第 4 回	教育相談の基礎知識②：カウンセリングマインド、教師の自己理解
第 5 回	子どもの発達と生じうる問題①：乳幼児期～児童期
第 6 回	子どもの発達と生じうる問題②：思春期～青年期
第 7 回	教育相談の実際①：アタッチメントとトラウマの理解
第 8 回	教育相談の実際②：不登校・不登園
第 9 回	教育相談の実際③：いじめ
第 10 回	教育相談の実際④：発達障害
第 11 回	教育相談の実際⑤：児童虐待
第 12 回	教育相談の実際⑥：心身症・精神障害
第 13 回	教育相談の実際⑦：ヤングケアラー・LGBTQ・言語的マイノリティ（外国籍児童・生徒）
第 14 回	教育相談における連携と協働②：円滑な連携のための情報の活用、幼保小中の連携
第 15 回	教育相談の予防的活用：心理教育
第 16 回	筆記試験

到達目標

1. 幼稚園・小学校・中学校における教育相談の意義、理論及び技法について説明できる。
2. 幼稚園・小学校・中学校における発達段階と生じうる問題について説明できる。
3. 幼稚園・小学校・中学校において生じうる問題への理解と対応について、体験を通じた事例理解ができる。
4. 教育相談における連携・協働の意義と具体的手法について説明できる。

履修上の注意

1. 20 分以上の遅刻は欠席扱い、遅刻 3 回で 1 回の欠席とする。リアクションシートの未提出は、欠席とする。
2. すべての授業でリアクションシートの提出を求め、翌週の授業開始時に講師がフィードバックする。
3. 許可のない限り、機器の如何にかかわらず授業内容の撮影・録音を禁ずる。
4. 授業内でグループワークを行う。積極的に参加すること。
5. 授業計画は、受講生の興味関心に応じて、適宜、内容や順番を変更する。

予習・復習

授業計画や授業内で提示する資料を参照し、各自予習復習を行う。授業内で理解したこと、疑問を持ったこと、興味をもったことをまとめる。

評価方法

リアクションシート（40％）、定期試験（60％）で評価する。定期試験は、穴埋め式・論述式で行う予定である。詳細は、授業内で提示する。

テキスト

各回のパワーポイント資料。その他は、適宜授業内で提示する。

授業概要

本講義では、教育相談の基礎理論と技法の理解を目指す。基礎的なカウンセリングの理論及び技法、乳幼児期・児童期・思春期に生じうる問題と対応方法、多職種との連携について講義する。また、アクティブ・ラーニングとして、グループ・ワークを用い、体験を通じた事例理解を目指す。

授業計画

第 1 回	ガイダンス、教育相談とは何か
第 2 回	教育相談における連携と協働：チーム学校（園）の基礎、専門職の役割
第 3 回	子どもの発達と生じうる問題：思春期・青年期を中心に
第 4 回	教育相談の基礎知識①：カウンセリングの代表理論と基礎技法
第 5 回	教育相談の基礎知識②：カウンセリングマインド、教師の自己理解
第 6 回	教育相談の実際①：アタッチメントとトラウマの理解
第 7 回	教育相談の実際②：不登校・不登園
第 8 回	教育相談の実際③：いじめ
第 9 回	教育相談の実際④：発達障害
第 10 回	教育相談の実際⑤：児童虐待・非行
第 11 回	教育相談の実際⑥：心身症・精神障害
第 12 回	教育相談の実際⑦：緊急支援、自殺・希死念慮
第 13 回	教育相談の実際⑧：ヤングケアラー・LGBTQ・言語的マイノリティ（外国籍児童・生徒）
第 14 回	教育相談の予防的活用：心理教育
第 15 回	教育相談の予防的活用：心理教育グループワークの発表、教師のメンタルヘルス
第 16 回	筆記試験

到達目標

1. 幼稚園・小学校・中学校における教育相談の意義、理論及び技法について説明できる。
2. 幼稚園・小学校・中学校における発達段階と生じうる問題について説明できる。
3. 幼稚園・小学校・中学校において生じうる問題への理解と対応について、体験を通じた事例理解ができる。
4. 教育相談における連携・協働の意義と具体的手法について説明できる。

履修上の注意

1. 20 分以上の遅刻は欠席扱い、遅刻 3 回で 1 回の欠席とする。リアクションシートの未提出は、欠席とする。
2. すべての授業でリアクションシートの提出を求め、翌週の授業開始時に講師がフィードバックする。
3. 許可のない限り、機器の如何にかかわらず授業内容の撮影・録音を禁ずる。
4. 授業内でグループワークを行う。積極的に参加すること
5. 授業計画は、受講生の興味関心に応じて、適宜、内容や順番を変更する。

予習・復習

授業計画や授業内で提示する資料を参照し、各自予習復習を行う。授業内で理解したこと、疑問を持ったこと、興味をもったことをまとめる。

評価方法

リアクションシート（40％）、定期試験（60％）で評価する。定期試験は、穴埋め式・論述式で行う予定である。詳細は、授業内で提示する。

テキスト

各回のパワーポイント資料。その他は、適宜授業内で提示する。